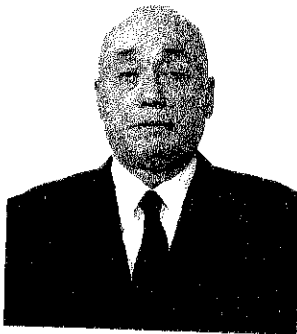


鹿児島県柔道会だより

■発行人/北 哲郎 ■編集/総務部編集委員会 ■発行/公益財団法人鹿児島県柔道会(電話 099-222-7770)

年頭所感 (稽古始式)

会長 北 哲郎



平成24年の新年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、JR九州新幹線全線開通に伴い、鹿児島もいろいろな行事など賑やかな幕開けを期待しておりましたが、過去に例を見たことがない「東日本大震災」の発生により、多くの行事などが自粛されました。

また、国内では、政局が混迷し、先行き不透明な政治・経済情勢の中で新年を迎えました。

昨年の県柔道会の一年間を振り返ってみますと、役員をはじめ、皆様方の御指導と御協力により、鹿児島情報高等学校の豎山将選手が、全日本ジュニア選手権大会と世界ジュニア選手権大会男子66kg級で優勝しました。

また、鹿児島南高等学校の稲森奈見選手が全国高等学校総合体育大会女子78kg超級で優勝。全日本ジュニア選手権大会女子78kg超級で準優勝。フランス国際ジュニア大会女子78kg超級で優勝しました。

など、本県柔道界で過去に例の無い優勝という快挙を成し遂げてくれました。

今年の干支は、辰です。昇り龍になって昨年の勢いを続け、個人戦・団体戦共に去年以上の成果を期待しております。

今年の行事は、6月に講道館南九州形講習

会、8月には、全国小学生学年別柔道大会等大きなイベントが本県で開催されます。

また、底辺の柔道人口低迷が予想されますが、いよいよ4月から中学校武道必修化が、完全実施されます。この機会に指導者は、安心・安全な柔道指導に心掛け、生徒たちに礼節を重んじる柔道の魅力、素晴らしさを体験させて、柔道人口の増大を図る必要があります。

世間では、「大阪維新」が日本中を騒がせましたが、「明治維新」は、薩摩から西郷隆盛、大久保利通、五代友厚、寺島宗則、松方正義、森有礼、東郷平八郎、大山巖等の多くの人材が出て、近代日本を築く原動力になったことは、良く知られています。これらの人々は、幼少の頃、「郷中教育」で育った人たちです。

私は、今年を「柔道維新元年」と位置付けて、「教育柔道」・「武の国薩摩復活」を目指した競技力の向上を最重点として、柔道の普及発展のために全力で邁進する決意です。

皆様方の、御指導・御支援・御協力をよろしくお願い申し上げます。

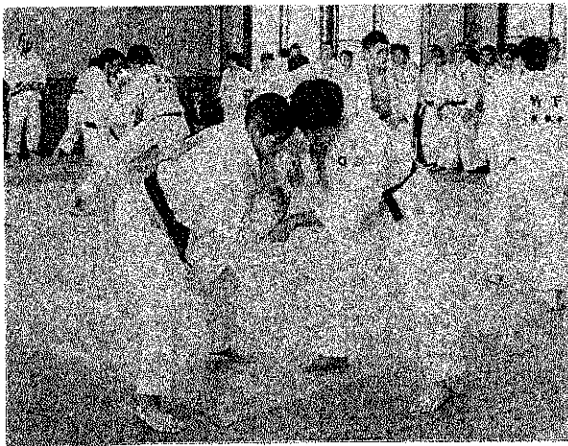
県柔道会稽古納め

12月24日(土) 県柔道会館

恒例の稽古納めが、24日(土) 県柔道会館で行われた。鹿児島県警と中学・高校・大学生ら70人が熱気ある稽古で汗を流し、一年間の稽古を締めくくった。

北 哲郎会長は、冒頭の訓示で、「今年も、全ての行事が、皆様方の御指導・御支援・御協力のもとに無事終了し、かなりの成果を上げることができたと確信し感謝している。その中でも、今年、豎山将(鹿児島情報高校)が、全日本ジュニアと世界ジュニアで優勝、稲森奈見(鹿児島南高校)が、北東北総体で優勝するなど素晴らしい年で、来年は、団体

でも全国制覇を実現して欲しい。」と激励。
次に、「講道館護身術」が披露された。
最後に、上村正六段(県警機動隊)の指揮
で乱取りが行なわれ、稽古納めを終了した。



県柔道会稽古始め(鏡開き)

1月7日(土) 県柔道会館

県柔道会の稽古始めが、1月7日(土) 県柔道会館で、130人が参加して行われた。

北 哲郎会長は、訓示の中で、「4月から始まる中学校の武道必修化で柔道の素晴らしさを伝えて欲しい。今年は、団体戦でも好成績を挙げ、龍のように飛躍して欲しい。」と挨拶した。

その後、「極の形」が披露され、上村正六段(県警機動隊)の指揮で、乱取稽古に汗を流した。

稽古の後、恒例の鏡開きがあり、ぜんざいが振る舞われ、中高生らが熟々の餅にかぶりついていた。2~3杯おかわりをし、後始末をして、今年の稽古始めを終了した。



(道場めぐり 12)

「山川武道館柔道スポーツ少年団」の歴史と現状

監督 田之上真一

まず、「山川武道館柔道スポーツ少年団」の歴史を振り返ってみますと、昭和50年に田村信弘先生(現南薩・指宿支部長)を初め多数の先生方が集まり、山川町(現指宿市山川)に在る大成小学校で、「大成柔道スポーツ少年団」としてスタートしました。

当初は、稽古をする道場が無くて、小学校の体育館に稽古の前に畳を敷き詰めて稽古をし、稽古の後に畳を体育館の隅に積み上げてという感じで練習をしていたそうです。

その後、空き教室に畳を敷き詰めて稽古を始めました。団員が多い時期は、40名以上の団員がいて、狭い教室の中で練習をしていました。低学年の団員が、教室で柔道の稽古をしている時、高学年の団員は、「階段走」といって校舎内を走るトレーニングをしていました。

平成元年に山川町立山川武道館が建設され稽古の場所を武道館に移転して、今の稽古の道場となっています。

山川町では大成柔道スポーツ少年団と徳光柔道スポーツ少年団の2つの柔道スポーツ少年団が活動していました。徐々に柔道する子供たちが減少してたきので、平成9年に2つの柔道スポーツ少年団が合併して、大成小学校の子供たちを中心に「山川武道館柔道スポーツ少年団」が、誕生しました。

その後、旧山川町の小学校だけではなく、隣町の旧指宿市の丹波小、柳田小、旧開聞町開聞小の柔道をやりたい子供たちが入団してきて「新生山川武道館柔道スポーツ少年団」が誕生しました。

ここで私が、監督を引き受けたことについて語ります。私も大成小学校時代に空き教室で田村先生を初め多数の先生方、特に、当時指宿警察署大山駐在署に赴任された嶺博史先生に鍛えられて柔道が大好きになり、中学生高校生と柔道を続けました。

社会人になり平成11年4月当時22歳。柔道から暫らく遠ざかっていた時に、私の中学校時代の指導者でもあり、大成柔道スポーツ少年団の先輩で親戚の上菌浩司先生(現山川中学校柔道部指導者)から【柔道の指導者にならないか?】と誘われ、柔道が好きだし、子供が好きなので、指導者(現監督)を引き受けることにしました。

指導者となり、1年目でいきなり県大会団体初優勝という素晴らしい結果からスタートしました。その後、平成18年に個人戦で、湯之上歩惟が、県小学生学年別柔道大会5年女子40kg超級で優勝して、山川町の柔道スポーツ少年団初の全国大会に出場、湯之上歩惟は、翌年も、6年女子45kg超級でも優勝して、全国大会に2年連続出場しました。

大成柔道スポーツ少年団時代では、平成7年に浜上忠治が、県少年柔道学年別錬成大会4年の部で優勝しています。

卒団後の子供たちの中から、中学・高校の県大会や九州大会の個人戦・団体戦で、優勝者が多く輩出しています。

その中に、平成14年全国中学校柔道大会女子44kg優勝した最初の教え子大木千夏がいます。

こういう素晴らしい先輩たちを目標にして後輩たちは、稽古に励んでいます。

現在、山川武道館柔道スポーツ少年団は、山川の大成小学校11名、指宿の丹波小学校7名、開聞の開聞小学校3名、3つの小学校の子供たち21名と幼児4~6歳の3名、合計24名で週3回(火・水・金)練習をしています。

練習時間は、火・水曜日が、午後6時30分~午後8時00分 金曜日が、午後6時30分~9時00分で、練習内容は、基礎体力づくりのトレーニングを中心にして、柔道の基本練習をしています。

現在、24名の団員がいますが、平成23年の4月は、10名という少人数でスタートしました。

入団者募集(子供たちの名前入り)のポスターを創作して、3つの小学校に頼んで、ポスターを貼らせてもらった結果、嬉しいこと

に人数が倍以上に増えて24名になりました練習中に心掛けていることは、子供たちとのコミュニケーションを取るために一人一人に声かけをしています。

子供たちには、「感謝の気持ちを忘れないように」と言って指導しています。

1, 親 2, 先生(柔道・学校) 3, 仲間(柔道・学校)の順で感謝するように指導しています。

それで、練習後には、親に対して、(送り迎えしてくれてありがたい感謝を込めて)挨拶をさせています。

2, 020年の鹿児島国体に、山川武道館の団員中から、多くの選手を輩出できるように、団員の発掘と指導に頑張りたいと思います。



(道場めぐり 13)

「米倉柔道館の歩みと現状」

館長 米倉 優一

私が、少年柔道を始めたのは、平成13年高校柔道の監督をしていた友人の紹介で、6年生の男子児童が、私のところに、訪ねて来てくれたことが、きっかけでした。

小学生の息子たちを託した高校時代の恩師から、少年柔道の楽しさや喜びを聞いていたので、これを機に、禪の緒を締め直して少年柔道を始めようと決心しました。

その年の8月、自宅(整骨院)の2階の15畳の和室を柔道場に改造し、週3日の練習日でスタートしました。また、吉野中学校の柔道場を借りることが出来る日は、柔道の好きな仲間が集まり、一緒に汗を流しました。

この時のメンバーが、指導者となり、支えてもらったことや保護者が柔道着に着替えて触れ合いを楽しんでくれたことが、大きな力となりました。

平成17年には、館員が40人を超えたので、30畳に改造しましたが、それでも狭くて曜日ごとに高学年と低学年に分けて練習しました。練習試合等は、中学校の柔道場を土曜日の昼間に借りて、合同で行いました。

多くの方々の御協力や御尽力により、平成17年と平成18年には、個人戦で全国大会に出場する児童も現れ、平成20年には、県代表として、念願の全国大会出場を果たし、講道館の空気に触れさせることも出来ました。その時の成績は、2回戦で敗退でした。その当時の児童たちが、今年は、高等学校入学の年齢になり、高等学校での活躍を期待しているところです。

これまで、米倉柔道館では、健全な青少年育成の一環として、合宿を利用して、外部講師によるユニークな「学びの時間」を設けてきました。ある年は、南部ソーラン節を練習し、その成果を、町内の敬老会で披露しました。

また、礼法の先生を招き、食事の作法や歩き方を教えていただきました。フラダンスも習いました。

ある年は、小さな体で・政界で活躍している友人にお願いして、「体は、SサイズでもLサイズの根性で」と題して語ってもらいました。その根底にあるのは、日頃、唱和させている「薩摩柔道ルネッサンス宣言」です。



現在、以前に比べて館員も減り、寂し限りですが、柔道人口の拡大に向けて、道場での練習や合宿、年末の掃除等の様子をDVDで紹介する等して、少年期に柔道をする素晴らしさを伝えながら、館員の確保・拡充に努めてまいりたいと思っています。

柔道競技を出来る今に感謝！

鹿児島情報高等学校 堅山 将

私は、中学校で柔道日本一を目指して毎日の練習に汗を流しました。しかし、達成することは、出来ませんでした。

高校に入学する前に、「日本一になりたい」でなくて、「日本一になるのだ」と強く心に秘めて、高校生活を楽しさと厳しさのある充実した毎日を過ごしました。

秋田高校総体では、3位という結果に終わりましたが、全日本と世界ジュニア体重別選手権でその目標を達成することが出来ました。私も凄く嬉しいでしたが、皆が喜んでくれたので嬉しさが、倍増しました。



私は今、挑戦をして見たいことがあります。それは、「過去の自分を上回ることです。」

今年の4月から、鹿児島体育大学に進学します。これから新たな学習生活と柔道競技が始まります。そこでは、時間を守り、部屋をきれいにし、食事のバランスを考えます。トレーニングも良く研究して、技や組み手を増やします。

柔道競技を出来る今に感謝し、これからも鹿児島で頑張ります。

各種大会の成績(10月~1月)

・県高等学校新人柔道大会

10月17日(月)・18日(火)

鹿児島アリーナ武道場団体戦(男子)

- 1位 鹿児島情報高等学校
- 2位 明桜館高等学校
- 3位 れいめい高等学校
- 4位 鹿児島工業高等学校

団体戦(女子)

- 1位 鹿児島南高等学校
- 2位 れいめい高等学校
- 3位 出水中央高等学校
- 4位 鳳凰高等学校

個人戦(男子)

60kg級

- 1位 加藤 駿(明桜館高等学校)
- 2位 塩田 忠央(鹿児島実業高等学校)

66kg級

- 1位 小野 将知(鹿児島情報高等学校)
- 2位 黒葛野大輝(鹿児島情報高等学校)

73kg級

- 1位 福満 仁(れいめい高等学校)
- 2位 近藤 航牙(鹿児島情報高等学校)

81kg級

- 1位 盛田 勝義(明桜館高等学校)
- 2位 葛 基(種子島中央高等学校)

90kg級

- 1位 竹下 恭平(明桜館高等学校)
- 2位 田中 健児(鹿児島情報高等学校)

100kg級

- 1位 下村 柔悟(鹿児島情報高等学校)
- 2位 徳田 力也(明桜館高等学校)

100kg超級

- 1位 飛松 直樹(鹿児島情報高等学校)
- 2位 上野 公大(鹿児島実業高等学校)

個人戦(女子)

48kg級

- 1位 井田 瑞穂(鹿児島南高等学校)
- 2位 道場 有希(れいめい高等学校)

52kg級

- 1位 田中 美佳(明桜館高等学校)
- 2位 白澤沙也加(鹿児島南高等学校)

57kg級

- 1位 岡村 舞子(鹿児島水産高等学校)
- 2位 淵合加奈子(鳳凰高等学校)

63kg級

- 1位 神村 もも(鹿児島南高等学校)
- 2位 湯之上歩惟(鹿児島南高等学校)

70kg級

- 1位 榎谷有里(鹿児島南高等学校)
- 2位 松尾 巴(国分中央高等学校)

78kg級

- 1位 高山 莉加(鹿児島南高等学校)
- 2位 今田樹里香(出水中央高等学校)

78kg超級

- 1位 中川 夢香(出水中央高等学校)
- 2位 福留 花恋(樟南第二高等学校)

・県少年柔道大会

11月15日(日) 県武道館柔道場

団体戦

- 1位 西之表黒潮柔友会
- 2位 柔心館道場
- 3位 青雲柔道クラブ
- 3位 末吉柔道スポーツ少年団

・九州高等学校新人柔道大会

11月19日(土)・20日(日)

県武道館(宮崎市)

◇団体戦 鹿児島南高女子準優勝

個人戦(男子)

81kg級

- 3位 盛田 勝義(明桜館高等学校)

100kg級

- 3位 下村 柔悟(鹿児島情報高等学校)

100kg超級

- 2位 飛松 直樹(鹿児島情報高等学校)

個人戦(女子)

78kg級

優勝 高山莉加(鹿児島南高等学校)

・県スポーツ少年団競技別交歓大会

12月25日(日) 県武道館柔道場

団体戦

- 1位 かわなべ柔道スポーツ少年団
- 2位 双葉柔道スポーツ少年団
- 3位 志布志柔道スポーツ少年団
- 3位 南界柔道スポーツ少年団

・県高等学校柔道選手権大会

1月21日(土)・22日(日)
鹿児島アリーナ武道場

男子鹿情報, 女子鹿南が連覇

団体戦(男子)

- 1位 鹿児島情報高等学校
- 2位 明桜館高等学校
- 3位 鹿児島工業高等学校
- 3位 れいめい高等学校

団体戦(女子)

- 1位 鹿児島南高等学校
- 2位 出水中央高等学校
- 3位 れいめい高等学校
- 3位 鳳凰高等学校

個人戦(男子)

- 60kg級
- 1位 加藤 駿(明桜館高等学校)
- 2位 宮 一輝(明桜館高等学校)
- 73kg級
- 1位 近藤 航牙(鹿児島情報高等学校)
- 2位 福満 仁(れいめい高等学校)
- 81kg級
- 1位 盛田 勝義(明桜館高等学校)
- 2位 葛 基(種子島中央高等学校)
- 90kg級
- 1位 竹下 恭平(明桜館高等学校)
- 2位 田中 健児(鹿児島情報高等学校)

無差別級

- 1位 飛松 直樹(鹿児島情報高等学校)
- 2位 下村 柔悟(鹿児島情報高等学校)

個人戦(女子)

- 52kg級
- 1位 井田 瑞穂(鹿児島南高等学校)
- 2位 白澤沙也加(鹿児島南高等学校)
- 57kg級
- 1位 淵合加奈子(鳳凰高等学校)
- 2位 岡村 舞子(鹿児島水産高等学校)

63kg級

- 1位 神村 もも(鹿児島南高等学校)
- 2位 湯之上歩惟(鹿児島南高等学校)

70kg級

- 1位 榎谷 有里(鹿児島南高等学校)
- 2位 松尾 巴(国分中央高等学校)

無差別級

- 1位 高山 莉加(鹿児島南高等学校)
- 2位 弥榮まどか(鹿児島南高等学校)

・鹿児島県柔道選手権大会

・鹿児島県女子柔道選手権大会

1月28日(土) 鹿児島アリーナ武道場

男子 中原(県警機動隊) 初優勝

女子 石橋(鹿屋体育大) 初優勝

(男子)

- 1位 中原 史貴
- 2位 濱田 恭輔
- 3位 松本三津夫
- 3位 内 健治郎
- 5位 堂前 賢吾

(女子)

- 1位 石橋 貴穂
- 2位 榎谷 有里
- 3位 高山 莉加

大会に出場するのは、男子は、3位まで、女子は稲森と石橋が3月の九州柔道選手権大会及び九州女子柔道選手権大会に出場する。

主な行事予定(2月~5月)

- 2月11日(土) 県下中学校新人柔道大会
- 2月26日(日) 県下少年新人柔道大会
- 3月19日~24日 春期講習会
- 3月25日(日) 春季昇段試験
- 4月7日・14日 国体強化練習
- 4月21日(土) 県柔道会定期総会
- 5月10・11日 県柔道指導者講習会
- 5月30・31日 県高等学校柔道競技大会

【編集後記】9年後に2回目の鹿児島国体が開催される予定になっています。この鹿児島国体を成功させるために、国体に向けての選手強化に本格的に取り組まなければなりません。鹿児島県柔道会の本部と支部と各地の道場が一丸となって、選手の発掘・強化指導に頑張りましょう。 チェスといけ鹿児島!